

# 特定施設等設置等届

平成 年 月 日

兵庫県知事 様

届出者 住 所（法人にあつては、主たる事務所の所在地）  
〒

.....  
氏 名（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

印

.....  
担当者氏名

.....  
電 話  
.....

工場等の名称	資本の額又は出資の総額
工場等の所在地 〒	
業種	主な製品又は加工の種類
作業の種類及び方法 別添作業工程図のとおり	常時使用する従業員の数
特定施設等の種類、構造、配置並びに使用及び管理の方法 別紙のとおり	
ばい煙等の処理の方法 別紙のとおり	工事の着手年月日 別紙のとおり
工事の完成年月日 別紙のとおり	特定施設等の使用開始年月日 別紙のとおり
備 考	

1 ばい煙に係るもの  
 (1) ばい煙発生施設の構造等

工場等における施設番号			
施設の種類			
名称・型式			
規          模	伝熱面積 (m <sup>2</sup> )		
	バーナーの燃料の燃焼能力 (重油換算※ L/h)		
	原料の処理能力 (ton/h)		
	火格子面積・ 羽口断面積 (m <sup>2</sup> )		
	変圧器の定格容量 (KVA)		
	触媒に付着する 炭素の燃焼能力 (kg/h)		
	焼却能力 (kg/h)		
	燃焼室の容積 (m <sup>3</sup> )		
	乾燥施設の容量 (m <sup>3</sup> )		
	電流容量 (KA)		
ポンプの動力 (KW)			
工事の着手年月日	年 月 日	年 月 日	
工事の完成年月日	年 月 日	年 月 日	
特定施設等の使用開始年月日	年 月 日	年 月 日	

A 4

※ 重油換算は下記の表によって行ってください。

重油 1 リットル	液体燃料 1 リットル
	ガス燃料 1.6 m <sup>3</sup>
	固体燃料 1.6 kg
ガス機関・ガソリン機関 の気体燃料の場合	重油換算量(L/h) = $\frac{(\text{気体燃料の発熱量 kcal/Nm}^3)}{9,600 \text{ kcal/h}} \times \text{気体燃料の定格使用量(Nm}^3/\text{h)}$

1 ばい煙に係るもの

(2) ばい煙発生施設の使用及び管理の方法

工場等における施設番号						
使用状況	1日の使用時間及び 月使用日数等	時～ 時 回/日	時間/回 日/月	時～ 時 回/日	時間/回 日/月	
	季節変動					
原材料 (ばい煙の発生に 影響のあるもの に限る。)	種類					
	使用割合					
	原材料中の成分割合 (%)	硫黄分			硫黄分	
		カドミウム分			カドミウム分	
		鉛分			鉛分	
ふっ素分				ふっ素分		
1日の使用量						
燃料又は 電力	種類					
	燃料中の成分割合 (%)	灰分		灰分		
		硫黄分		硫黄分		
	発熱量					
	通常の使用量 (L/h)					
混焼割合						
排出ガス量 (Nm <sup>3</sup> /h)	湿り	最大	通常	最大	通常	
	乾き	最大	通常	最大	通常	
排出ガス温度 (°C)						
ばい煙の 濃度	ばいじん (g/Nm <sup>3</sup> )	最大	通常	最大	通常	
	硫黄酸化物 (容積比 ppm)	最大	通常	最大	通常	
	カドミウム及び その化合物 (mg/Nm <sup>3</sup> )	最大	通常	最大	通常	
	塩素 (mg/Nm <sup>3</sup> )	最大	通常	最大	通常	
	塩化水素 (mg/Nm <sup>3</sup> )	最大	通常	最大	通常	
	ふっ素、ふっ化水素及び ふっ化けい素 (mg/Nm <sup>3</sup> )	最大	通常	最大	通常	
	鉛及び その化合物 (mg/Nm <sup>3</sup> )	最大	通常	最大	通常	
ばい煙量	硫黄酸化物 (Nm <sup>3</sup> /h)	最大	通常	最大	通常	
備考						

1 ばい煙に係るもの

(3) ばい煙の処理の方法

ばい煙に係る処理施設の工場等における施設番号				
処理に係るばい煙発生施設の工場等における施設番号				
ばい煙処理施設の種類・名称・型式				
工 事 の 着 手 年 月 日		年 月 日	年 月 日	
工 事 の 完 成 年 月 日		年 月 日	年 月 日	
特定施設等の使用開始年月日		年 月 日	年 月 日	
処 理 能 力	排出ガス量 (Nm <sup>3</sup> /h)	最 大		
		通 常		
	排出ガス温度 (℃)	処 理 前		
		処 理 後		
	ば い 煙 の 濃 度	ばいじん (g/Nm <sup>3</sup> )	処 理 前	
			処 理 後	
		硫黄酸化物 (容積比 ppm)	処 理 前	
			処 理 後	
		カドミウム及び その化合物 (g/Nm <sup>3</sup> )	処 理 前	
			処 理 後	
		塩 素 (mg/Nm <sup>3</sup> )	処 理 前	
			処 理 後	
	塩 化 水 素 (mg/Nm <sup>3</sup> )	処 理 前		
		処 理 後		
	ふっ素、ふっ化水素及び ふっ化けい素	処 理 前		
		処 理 後		
	鉛及び その化合物 (mg/Nm <sup>3</sup> )	処 理 前		
		処 理 後		
	ば い 煙 量	硫黄酸化物 (Nm <sup>3</sup> /h)	最 大	処 理 前
				処 理 後
通 常		処 理 前		
		処 理 後		
捕 集 効 率 (%)	ば い じ ん			
	硫 黄 酸 化 物			
	カドミウム及びその化合物			
	塩 素			
	塩 化 水 素			
	ふっ素、ふっ化水素及び ふっ化けい素			
	鉛 及 び そ の 化 合 物			
使 用 状 況	1日の使用時間及び月使用日数等		時～ 時 時間/回 回/月 日/月 日/月	
	季 節 変 動			
排 出 口 の 実 高 さ (m)				
補正された排出口の高さ (m)				
排 出 速 度 (m/s)				

1 ばい煙に係るもの

(4) 有害物質の施設の種類の種類、構造、使用方法及び有害物質の処理の方法

工場等における施設番号					
施設の種類の種類					
名称・型式					
規模（能力）					
工事の着手年月日		年 月 日	年 月 日		
工事の完成年月日		年 月 日	年 月 日		
特定施設等の使用開始年月日		年 月 日	年 月 日		
使用の方法	原材料	種類の種類			
		使用割合（%）			
		使用量	1時間当たり		
			1日当たり		
	使用温度（℃）				
	製品回収率（%）				
処理の方法	発生が予想される有害物質の種類				
	発生の理由				
	処理施設の種類の種類・名称・型式				
	排ガス量 (Nm <sup>3</sup> /h)	処理前			
		処理後			
	排出ガス温度 (℃)	処理前			
		処理後			
	排出口の有害物質濃度 (ppm)	処理前			
		処理後			
	捕集効率（%）				
	排ガス集煙（集じん）方法 （又はできない理由）				
煙突・フード等の大きさ （高さ×頂口径）					
排出速度（m/s）					
管理計器の種類					

2 粉じんに係るもの

(1) 粉じんの施設の種類、構造、使用の方法及び粉じん処理の方法

工場等における施設番号				
施設の種類				
名称・形式				
規模（能力）				
工事の着手年月日			年 月 日	年 月 日
工事の完成年月日			年 月 日	年 月 日
特定施設等の使用開始年月日			年 月 日	年 月 日
使用の方法	原材料	種類		
		使用割合（%）		
		使用量	1時間当たり	
			1日当たり	
	使用温度（℃）			
	製品回収率（%）			
処理の方法	発生が予想される粉じんの種類			
	発生理由			
	処理施設の種類・名称・型式			
	排出ガス量（Nm <sup>3</sup> /h）	処理前		
		処理後		
	排出ガス温度（℃）	処理前		
		処理後		
	排出口の粉じん濃度（g/Nm <sup>3</sup> ）	処理前		
		処理後		
	捕集効率（%）			
	排出ガス集煙（集じん）方法（又はできない理由）			
煙突・フード等の大きさ（高さ×頂口径）				
排出速度（m/s）				
管理計器の種類				

2 粉じんに係るもの

(2) 粉じん発生施設（たい積場）の構造並びに使用及び管理の方法

工場等における施設番号				
名称・型式				
規模	面積 (m <sup>2</sup> )			
	たい積能力 (ton)			
工事の着手年月日		年 月 日	年 月 日	
工事の完成年月日		年 月 日	年 月 日	
特定施設等の使用開始年月日		年 月 日	年 月 日	
使用 及 び 管 理 の 方 法	たい積物の種類・性状・通常の年間延べたい積量 (ton/年)			
	たい積物がある中に設置されている建築物の概要			
	散水	装置の種類・型式・基数		
		装置の能力 (m <sup>3</sup> /h)		
		散水の方法		
	防じんカバーの設置状況			
	薬液散布	薬液の種類・名称		
		装置の種類・型式・基数		
		装置の能力 (m <sup>3</sup> /h)		
		散布の方法		
	締固め	装置の種類・型式		
		締固め方法		
その他				

2 粉じんに係るもの

(3) 粉じん発生施設（コンベア）の構造並びに使用及び管理の方法

工場等における施設番号			
名称・型式			
規 模	ベルト幅(cm)・バケット内容積(m <sup>3</sup> )		
	単基の長さ(m) × 基数		
	ベルト・バケットの速度(m/分)		
	運搬能力(ton/h)		
工事の着手年月日		年 月 日	年 月 日
工事の完成年月日		年 月 日	年 月 日
特定施設等の使用開始年月日		年 月 日	年 月 日
使 用 及 び 管 理 の 方 法	運搬物の種類・運搬物の性状・通常の間月間運搬量(ton/月)		
	コンベアがその中に設置されている建築物の概要		
	集 じん 機	集じん機の種類・型式	
		集じん機の効率(%)	
		送風機の原動機出力(KW)	
	散 水 設 備	装置の種類・型式	
		装置の能力(m <sup>3</sup> /h)	
		運搬量当たり散水量(L/ton)	
	防じんカバーの設置状況		
	その他		



2 粉じんに係るもの

(4) 粉じん発生施設（粉砕機、摩砕機、ふるい）の構造並びに使用及び管理の方法

工場等における施設番号				
施設の種類				
名称・型式				
規模	原動機の定格出力 (KW)			
	処理能力 (ton/h)			
工事の着手年月日		年 月 日	年 月 日	
工事の完成年月日		年 月 日	年 月 日	
特定施設等の使用開始年月日		年 月 日	年 月 日	
使用及び管理の方法	処理対象物の種類・通常 の月間処理量 (ton/月)			
	粉砕機・摩砕機・ふるい がその中に設置されている 建築物の概要			
	集じん機	集じん機の種類・型式		
		集じん機の効率 (%)		
		送風機の原動機出力 (KW)		
	散水設備	装置の種類・型式		
		装置の能力 (m <sup>3</sup> /h)		
		処理量当たり散水量 (L/ton)		
	防じんカバーの設置状況			
	その他			

2 粉じんに係るもの

(5) 石綿粉じん発生施設の種類の、構造、使用の方法並びに石綿粉じんの処理及び飛散防止の方法

工場等における施設番号			
施設の種類の			
名称・型式			
規模	原動機の定格出力 (KW)		
	処理能力 (ton/h)		
工事の着手年月日		年 月 日	年 月 日
工事の完成年月日		年 月 日	年 月 日
特定施設等の使用開始年月日		年 月 日	年 月 日
使用の方法	使用状況	使用工程	
		1日の使用時間・月間使用日数	
		季節変動	
	原材料の種類		
	日の使用量・月間の使用量(kg)		
	原材料中の成分割合		
石綿粉じんの処理及び飛散防止の方法	解綿用機械等がその中に設置されている建築物の概要		
	処理施設の種類の・名称・型式		
	集じん機	集じん機の効率 (%)	
		捕集粉じん取出方法	
		捕集粉じん払落し機構の種類	
		送風機の原動機出力 (KW)	
		送風機の送風量 (Nm <sup>3</sup> /h)	
		排出口の高さ (m)	
		排出口からの敷地境界線までの距離 (m)	
	散水	装置の種類・型式・基数	
		散水の方法	
	清掃のための装置の種類・基数		
	防じんカバーの設置状況		
	その他		

3 汚水に係るもの

(1) 汚水排出施設の構造等

工場等における施設番号		
施 設 の 種 類		
名 称 ・ 型 式		
構 造		
主 要 寸 法		
能 力		
施設・関連主要機械 ・装置の配置	別添図面のとおり	
工 事 の 着 手 年 月 日	年 月 日	
工 事 の 完 成 年 月 日	年 月 日	
特 定 施 設 等 の 使 用 開 始 年 月 日	年 月 日	
そ の 他		

3 汚水に係るもの  
 (2) 汚水排出施設の使用法

工場等における施設番号			
施設の設置場所		別添図面のとおり	
施設の操業系統		別添図面のとおり	
施設の使用時間間隔 ・1日当たりの使用時間			
使用の季節内変動の概要			
原材料の種類・使用方法 ・1日当たりの使用量			
特定施設等から排出される汚水の汚染状態	pH	通常	最大
	BOD (mg/L)	通常	最大
	COD (mg/L)	通常	最大
	SS (mg/L)	通常	最大
		通常	最大
		通常	最大
特定施設等から排出される汚水の量 (m <sup>3</sup> /日)		通常	最大
その他			

3 汚水に係るもの

(3) 汚水の処理の方法

汚水処理施設の名称			
汚水処理施設の設置場所		別添図面のとおり	
汚水処理施設の工事の着手年月日		年	月 日
汚水処理施設の工事の完成年月日		年	月 日
汚水処理施設の使用開始年月日		年	月 日
汚水処理施設の種類			
汚水処理施設の形式			
汚水処理施設の主要寸法			
汚水処理施設の能力			
汚水の処理方法			
汚水の処理系統			
汚水の集水・導水方法			
汚水処理施設の使用時間間隔 ・1日当たりの使用時間			
使用の季節的変動の概要			
汚水の中和・凝集・酸化の用途別 薬剤の1日当たりの使用量			
処理前・後の 汚水の 汚染状態	処理前・後の区分	処 理 前	
	p H	通常	最大
	B O D (mg/L)	通常	最大
	C O D (mg/L)	通常	最大
	S S (mg/L)	通常	最大
		通常	最大
		通常	最大
処理前・後の汚水の量 (m <sup>3</sup> /日)		通常	最大
処理による残さの種類・月間の 種類別生成量・処理方法			
排出方法 (排水口の位置・排水口 の数・排出先・最終放流先)		別添図面のとおり	
そ の 他			

3 汚水に係るもの

(4) 排出水の汚染状態及び量

排水口	項目等	排水量 (m <sup>3</sup> /日)	pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	S S (mg/L)		
		通常						
	最大							
	通常							
	最大							
	通常							
	最大							
	通常							
	最大							
	通常							
	最大							
その他								

3 汚水に係るもの  
 (5) 用水及び排水の系統

用水及び排水の系統		別添図面のおり						
用途別 用水 使用 量	取水 ( $m^3$ /日)	A上水道	B 工業用 水道	C地下水	D河川水	E海 水	Fその他	計
	用水 ( $m^3$ /日)							
	原料用水							
	洗浄用水							
	冷却用水							
	生活用水							
	そ の 他							
	計							
	用水使用量の 季節的変動の 概要							

注 循環使用水については、内数で括弧書きしてください。

4 騒音（振動）に係るもの

騒音（振動）の発生施設の種類、構造、使用及び管理の方法並びに騒音（振動）の防止の方法

施設の種類	型式	公称能力	数	時～時	時間／回	回／日・日／月
工事の着手年月日 年 月 日		工事の完成年月日 年 月 日		特定施設等の使用開始年月日 年 月 日		
騒音（振動）の防止の方法						
規制基準に定める騒音に関する地域区分の別						
規制基準に定める振動に関する地域区分の別						



5 悪臭に係るもの

悪臭の施設の種類、構造、使用方法及び悪臭の処理の方法

工場等における施設番号				
施設の種類				
名称・型式				
規模（能力・面積）				
工事の着手年月日		年 月 日	年 月 日	
工事の完成年月日		年 月 日	年 月 日	
特定施設等の使用開始年月日		年 月 日	年 月 日	
使用の方法	原料の種類・使用量 （貯蔵物の種類・貯蔵量）			
	製品名・製造量			
処 理 の 方 法	建屋の構造			
	集気方法			
	処理施設の種類・名称・型式			
	排出ガス量 (Nm <sup>3</sup> /h)	処理前		
		処理後		
	排出ガス温度 (°C)	処理前		
		処理後		
	排出ガス中の 悪臭物質濃度 (ppm)	アンモニア	処理前	
			処理後	
			処理前	
処理後				
排出口の高さ (m)				
備 考				